

第42回

## 中秋の名月を見よう

博物館・プラネタリウム (☎355-2700 FAX355-2704)



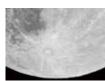
日本では旧暦の8月15日の 月を「中秋の名月」と呼び、お 月見をする風習があります。旧 暦は月の満ち欠けをもとにした 暦で、今年は9月13日が「中秋 の名月」に当たります。

「名月」といえば満月を連想し がちですが、今年は、満月の前 日にあたり、9月14日が満月で す。月は地球の周りをだ円軌道 を描いて公転しているため、地 球に近いときと遠いときがあり ノ

ます。今年の「中秋の名月」は 今年最遠で、地球から40万km 以上も離れており、翌日の満月 も、今年最も小さく見える満月 になります。

とはいえ、満月前後の月はと ても明るく、望遠鏡でのぞくと

まぶしいくら





ティコクレーターの光条 画像提供:国立天文台

いです。また、月の表面には、ク レーターから放射状に白い筋が のびている様子も見られます。

この白い筋は光条と呼ばれ、 小天体が月に衝突した時の噴出 物だと考えられています。

博物館では、9月13日(金) 19:30~21:00に、市民公園 で移動天文車きらら号による観 望会「中秋の名月を見よう」を 予定しています。今年は望遠鏡 で、ひと味違った「名月」を楽 しんでみませんか。



- ◆池一面に咲く蓮の花(7月26日 大矢知地区)
- ▶川島子ども自転車乗り教室 (7月31日 かわしま園集会所)







この池は、過去に産業廃棄物の影響で蓮が全滅した ことがあります。しかし、昔から「蓮溜め」と親しま れていたことから、復旧対策工事が行われた際植栽さ れ、蓮の花が咲き誇る池へと復活しました。



交通安全教育指導員「とみまつ隊」の、とみまつけ んちゃんと自転車の安全な乗り方などを学び、自分の 自転車で実践をする教室です。分かりやすく楽しい説 明に、子どもたちは聞き入っていました。

有料 広告掲 載

## 建設職人なら誰でも入れる組合です





組合独自の 建設労働者の

(本人10万円・家族7万円) 高額療養費、無料健康診断の開催 人間ドックに対する補助(3万3千円) 脳ドックに対する補助(2万円)など

**重県建設労働組合四日市支部** 四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)**354-1531**代